

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	建築生産 2	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	初学者の建築講座建築施工、ビジュアルハンドブック必携建築資料				
担当教員情報					
担当教員	赤石 辰夫		実務経験の有無・職種	有・施工管理 一級建築施工管理技士	
学習目的					
鉄骨工事は大別して鉄骨工場における鋼材の加工技術と、加工された部材を工事現場へ輸送した後に組み立てる建方技術に分かれる。したがって、それぞれのパートごとに分けて、鋼材の接合方法や精度の管理方法などの施工技術について知識を身に付ける。また、躯体が木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築構造による違いもある上で、その表面に各種の仕上げを行う工事全般について、仕組みと施工技術などの知識を身に付ける。					
到達目標					
鉄骨の建築では他の工法と異なり、必ず鉄骨の加工工場が躯体工事の中核となる。その工場内で行われる加工技術やその製品精度の検査に関する知識を学ぶ。一方で、工事現場で組み立てるための建て方技術や接合方法について学び、建物全体を精度よく施工する方法を理解する。また、建築生産1で学んだ木造や鉄筋コンクリート造の施工技術の知識について復習を行い、今回学んだ鉄骨造も含めて内装および外装の仕上げ工事に関する施工技術を理解し、建築工事全般について説明ができるようになる。					
教育方法等					
授業概要	教科書を中心に解説を進めるが、建築工事がより身近に感じられるように教員の経験も交えて説明を行う。項目ごとに区切りとなる小テストを行い、個人ごとの理解度の確認をする。				
注意点	身の回りには建築工事現場がたくさんあるので、興味を持って工事を観察し、疑問点があれば授業で質問するように心がけること。また、過去に学んだ知識は必ず仕事として使うので、わからなくなったら1年生で学んだ分野について復習をすること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する		
	小テスト	30%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する		
	平常点	20%	普段行われる演習問題の理解度や取り組みについて判断する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	建築施工ガイダンス		建築生産1の復習／施工技術者資格対策・測量実習・材料実験との関連		
2回	鉄骨構造の施工1		鉄骨工場のグレード／鉄骨材料の加工方法・基準		
3回	鉄骨構造の施工2		鉄骨の溶接・錆止め塗装などの基準		
4回	鉄骨構造の施工3		RC造の基礎・アンカーボルト		
5回	鉄骨構造の施工4		鉄骨の建て方工事・高力ボルト接合		
6回	鉄骨構造の施工5		鉄骨の耐火被覆・カーテンウォール工事		
7回	防水工事1		下地処理／アスファルト防水・改質アスファルト防水・シート防水工事・塗膜防水工事		
8回	防水工事2		防水押えコンクリート工事／シーリング工事		
9回	左官工事		モルタル仕上げ・漆喰仕上げ・セルフレベリング		
10回	タイル工事・石工事		湿式工法と乾式工法		
11回	建具工事・ガラス工事		木製建具、鋼製建具、定形シーリング、不定形シーリング		
12回	金属工事・内装工事		軽量鉄骨下地、プラスターボード下地、フローリング仕上げ		
13回	塗装工事・吹付け工事		下地処理と塗料の相性、吹付けタイル		
14回	電気工事・給排水工事		キュービクル、シャフトと配線・配管		
15回	空調工事・断熱工事		空調方式、換気方式、断熱工法		